

名家連ニュース

令和5年11月1日(火)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 池山 豊子
TEL/FAX(052)846-5576 NO.963号

◆◆ 10月の家族SST講座 ◆◆

家族SST講座第6回目を、10月28日(土)同朋大学の博間館2階会議室で開催しました。吉田先生と2回目の参加となる臨床心理士の津端氏(守山荘病院)を迎え、家族を含めて9名の参加でした。



今回は初めての方は無く少人数だったので、近況や悩みをじっくり聞く事ができました。

まず、ハロウィン時季なので自己紹介は「仮装(変身)したいなら何がいい?」で始まりました。なかなかユニークな仮装願望が聞けて面白かったです。

<うつ病の息子さんをもつ2回目の参加の方>

初めて参加した時のロールプレイがとてもいい経験になり、話に加わってもらったことが大事と気づかれて2回目の参加となりました。「前よりどうしようどうしようと思う事が減った。」と表情が明るくなられていました。(引きこもりだったが)今年は就労移行支援と繋がりができたのはとてもよかったとの事、「接し方は臨機応変にしようと思う。」と余裕が感じられました。又「働く事だけがゴールではないと気づけた。」とも話されました。

<当事者(妹)と余命を宣告されたご家族を持つ方の悩み>

入院中の妹に少しでもよく接してもらいたいととても気を使ってワーカーさんに接している。しかし不信が募る対応が多く、そう感じる自分がおかしいのか?どう対応したらいいのかとのご相談でした。

そこで実際に場面を設定し、①本人がそのワーカー(参加者に演じてもらう)にどのように話しかけているか。逆に②ワーカー役に本人がなり(本人役は吉田先生)実際の場面を演じる。すると、会話のキャッチボールがうまくいっていない様子がみえてきました。

上手くやっていきたいとの思いが強くて要点が不明になっているので、聞きたい事は具体的に聞く。家族から率直に言ってもらった方がいいし、たくさん話されると要点が分からなくなるとアドバイスされました。担当者を替えてくださいと言うより、ワーカーの中の責任者に「担当者とやりとりがうまく進まない。」と伝えるとよい、ワーカーと家族は上下関係ではないと話されました。

吉田先生が他の参加者にも医療や福祉関係者に不審を感じたことがあるかと尋ねられると、「精神科って、始めは特にどう接していいのかわからないから、主治医に不安やモヤモヤをうまく言葉で伝えることができない。」

「まだよくわからない病気だからと説明し不安に寄り添う言葉をかけてくれたら、こんなに親は長期に悩み苦しまないのではないかと。医者も福祉側ももっとはじめに説明して欲しかった。」の声が聞かれました。どなたも感じる家族の思いではないでしょうか。

次回は11月25日(土)13時半～同朋大学で開催です。(担当 熊谷)

[一般社団法人日本精神保健看護学会 社会貢献委員会主催 WEB セミナーのご案内](#)

「思春期のメンタルヘルス」(全4回) Zoom によるオンラインセミナー

第1回 2023年12月16日(土) 13:00～14:00

「思春期に必要なメンタルヘルスリテラシー教育」講師 道上恵美子(埼玉県立草加東高等学校養護教諭)

